

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育支援教室ほおずき		
○保護者評価実施期間	R6年12月8日		～ R7年 1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	R6年12月8日		～ R7年 1月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	切替えや見通しなどメリハリを意識できる活動内容になっている。	視覚支援にて認識できるよう、やる事などを見て取組めるようにしている。スモールステップで行い、小さな「できた」を増やしていけるようにしている。	視覚支援に関しては、今以上に自主的に子どもたちが意識していけるよう改善を図りながらよりよい環境を整えていきます。
2	集団で活動する事により、社会性などを養う力を持つことができる。	構造化、パターン化など環境づくりを意識して実施している。	職員同士が同じ方向を向いて個々の児童の支援にあたる事ができるよう努めていきます。
3	集団での活動ではあるが、個人に合わせたプログラム内容を組んでいる。運動などは子ども達と一緒に取組める。	集団活動の中においても個々の状況に合わせた課題などを用意している。運動面については、子どもたちが協力しながら取組み、身体を動かせるようにしている。	楽しみながらも達成感が得られるよう、さらなる充実を図っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会などの交流の機会の場は設けることはできていない。きょうだい向けのイベントの開催なども行っていない。ペアレントトレーニングの機会なども十分に行えていない。	参観日などの機会はあるが、保護者同士の交流やきょうだいイベントができる機会を設ける事ができていない。	現状保護者会などの立ち上げは予定していないが、必要があれば検討はしていく。 ペアレントトレーニングについては、職員研修などを行い、実施するための知識の習得を行っていくなど検討していく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会がない。	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもとの活動の機会を設ける事を前提としたプログラムができていない。	放課後児童クラブとは送迎の際に情報共有はできるが、それ以外については保護者の意見なども聞きながら必要に応じ検討。地域交流については、直接事業所以外の子どもとの交流はないが、行事等で集まっている場へ出向いて参加する等を行っている。
3			